

# 外部専門家によるモニタリングの品質に関する評価において指摘された課題と改善の方向性

	ヒアリングで得られた主な課題 及び原因	外部専門家による提言	当庁としての改善の方向性	
業態 共通	<b>【課題】公表物の理解促進、適切な公表タイミングの検討</b> (原因) 行政方針の公表時期が遅い・国内行目線と感じる、英語での発信が少ない 等	▶ 当庁公表物の理解促進、英語での発信の充実、適切な公表タイミングの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融行政方針を可能な限り早期に公表</li> <li>公表の機会を捉えての情報発信の充実</li> <li>各DPの英訳版の公表等、英語での公表について引き続き充実を推進</li> </ul>	
	<b>【課題】対話の環境整備のための信頼関係の構築</b> (原因) 率直な意見交換や現場レベルで対話できる環境が不十分	▶ テーマや階層を絞ることによる、出席者を限定した対話の場の設置		<ul style="list-style-type: none"> <li>監督指針において幅広い役職員との面談や意見交換の実施を明示</li> <li>業界団体主催の研修等の機会を捉えての担当者との意見交換の場の充実を検討</li> </ul>
	<b>【課題】モニタリング手続きの整理・明確化</b> (原因) 担当官や状況によって実施手続きにバラつきがある	▶ モニタリングの手続きをあらかじめ明確化し、庁内及び金融機関と共有		<ul style="list-style-type: none"> <li>監督指針等改正によるモニタリングプロセスの明確化及び周知(資料徴求の背景・目的の説明の必要性等についても改めて明示)</li> </ul>
	<b>【課題】資料徴求の背景や目的を明確にするための事前の説明</b> (原因) 資料徴求の背景や目的が不明確、重複感	▶ 金融機関に対して資料徴求の背景・目的を事前に説明し、認識をすり合わせる機会を設定		
地銀	<b>【課題】人員体制の整備、人材育成</b> (原因) 組織体制や人員育成等含めた方針が十分に確立されていない	▶ モニタリング担当官のキャリアモデルの確立、ノウハウの継承・蓄積を目的とした、オンオフ一体のモニタリングに向けた体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成に関し、専門分野毎のスキルマップを作成、職員に周知</li> <li>次世代の主任検査官育成のための研修の実施</li> </ul>	
	<b>【課題】財務局との連携の強化</b> (原因) モニタリング方針等の変化に応じた意思疎通の不足	▶ 意思疎通の場及び人材交流の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話会議等の実施による情報共有の促進</li> <li>方針等公表や金融機関ヒアリングの機会等を捉えての財務局との意見交換の実施</li> </ul>	
	<b>【課題】「金融仲介機能の発揮」についての認識の共有</b> (原因) 庁内において共通の解釈が示されておらず、現場の担当官が試行錯誤している段階にあること	▶ 事例等の共有により、庁内での認識共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融仲介機能の発揮について解釈を明確化するとともに、オンサイトにおける事例を蓄積し、事例集の作成・勉強会の開催等による、財務局を含めた目線の統一を実施</li> </ul>	